

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月27日

上場会社名 SBIリーシングサービス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5834 URL <https://www.sbils.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 公平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉原 寛 TEL 03(6229)1080  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,699	48.1	2,600	50.9	2,448	51.0	1,727	73.0
2023年3月期第2四半期	18,033	-	1,723	-	1,621	-	998	-

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 1,698百万円（49.6%） 2023年3月期第2四半期 1,134百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	222.17	222.06
2023年3月期第2四半期	140.76	-

- （注）
- 2022年3月期第2四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
  - 当社は、2022年7月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
  - 2023年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2023年3月期第2四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	56,381	19,398	34.4
2023年3月期	48,354	17,778	36.7

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 19,381百万円 2023年3月期 17,761百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	0.6	4,600	14.3	4,000	13.2	2,800	14.6	360.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	7,776,800株	2023年3月期	7,776,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	42株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	7,776,781株	2023年3月期2Q	7,096,800株

（注）当社は、2022年7月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

当社は、2023年10月27日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

四半期決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和が進んでいる中で、インバウンド需要の増加など、緩やかな回復基調が見られます。一方で、世界的な金融引き締めに伴う金利上昇による影響やエネルギー価格上昇による物価の上昇は国内経済の下振れリスクとなるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である航空業界におきましては、旺盛な旅客需要はコロナ禍前に近い水準まで戻ってきており、航空各社の業績の回復が適宜確認できているものの、賃金や燃料費の上昇によるコストが引き続き上昇していることから、世界情勢を勘案しつつ注視していく必要があります。

海運業界におきましては、タンカー船市況やLNG船市況は、ロシア・ウクライナ情勢によるエネルギー輸送を行う船舶の不足から、高い需要のもと堅調に推移しておりますが、コンテナ船市況は、世界経済が足踏みしている影響から、荷動きの減少などにより軟調な状況が続いております。今後も、世界経済全体の動向や地政学リスクが高まっている状況を注意深く見てまいります。

このような環境の中、当社グループのオペレーティング・リース事業においては、JOL商品の販売を4機(前年同四半期は2機)へと拡大させております。また、当社グループの成長性や財務状況、上場による信用力の向上などを評価いただくとともに、資金調達手段の多様化を指向し、外部格付を取得いたしました。さらに、従前よりSBIグループの中で協業を深めてまいりました株式会社SBI新生銀行をアレンジャーとする、合計10行の金融機関からなる総額102億円のシンジケーション方式でのコミットメントライン契約を締結し、多様な商品ラインナップの拡充に向け資金調達力を強化いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高26,699百万円(前年同四半期比48.1%増)、営業利益2,600百万円(同50.9%増)、経常利益2,448百万円(同51.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,727百万円(同73.0%増)となりました。

また、商品組成金額は122,408百万円(前年同四半期の2.3倍)、商品出資金等販売金額は39,166百万円(前年同四半期比9.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は45,936百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,653百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が2,147百万円減少しましたが、商品出資金が10,913百万円増加したことによるものであります。

固定資産は10,444百万円となり、前連結会計年度末に比べ627百万円減少いたしました。これは主に、賃貸資産が392百万円、繰延税金資産が260百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は56,381百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,026百万円増加いたしました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は23,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,657百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が2,378百万円、契約負債が600百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金10,200百万円増加したことによるものであります。

固定負債は13,681百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金251百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は36,982百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,406百万円増加いたしました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は19,398百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,620百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,727百万円及び剰余金の配当77百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて2,147百万円減少し、11,665百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは12,017百万円の支出超過(前年同四半期は8,679百万円の収入超過)となりました。これは主に、棚卸資産の増加額10,913百万円及び法人税等の支払額2,693百万円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、66百万円の支出超過(前年同四半期は8,376百万円の支出超過)となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出53百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,871百万円の収入超過(前年同四半期は7,953百万円の収入超過)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出251百万円により資金が減少した一方で、短期借入金の純増加額10,200百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年4月27日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,812	11,665
営業未収入金	340	554
商品出資金	21,768	32,682
その他	1,360	1,034
流動資産合計	37,283	45,936
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	8,893	8,500
貸貸資産合計	8,893	8,500
社用資産		
建物附属設備	62	61
工具、器具及び備品	4	6
社用資産合計	67	67
有形固定資産合計	8,960	8,568
無形固定資産		
のれん	309	283
ソフトウェア	28	24
無形固定資産合計	337	308
投資その他の資産		
関係会社株式	193	251
関係会社出資金	48	56
繰延税金資産	1,375	1,114
その他	155	144
投資その他の資産合計	1,773	1,567
固定資産合計	11,071	10,444
資産合計	48,354	56,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	8,800	19,000
1年内返済予定の長期借入金	502	502
未払金	383	288
未払法人税等	2,914	536
契約負債	3,320	2,720
その他	722	253
流動負債合計	16,643	23,300
固定負債		
長期借入金	13,904	13,653
資産除去債務	27	27
固定負債合計	13,932	13,681
負債合計	30,575	36,982
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,032	1,032
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	12,809	14,459
自己株式	—	△0
株主資本合計	17,754	19,404
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	6	△22
その他の包括利益累計額合計	6	△22
新株予約権	17	17
純資産合計	17,778	19,398
負債純資産合計	48,354	56,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	18,033	26,699
売上原価	14,949	22,731
売上総利益	3,083	3,967
販売費及び一般管理費	1,360	1,367
営業利益	1,723	2,600
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
商品出資金売却益	51	52
為替差益	37	71
その他	0	—
営業外収益合計	88	123
営業外費用		
支払利息	161	201
支払手数料	28	73
その他	0	—
営業外費用合計	190	275
経常利益	1,621	2,448
税金等調整前四半期純利益	1,621	2,448
法人税、住民税及び事業税	1,236	447
法人税等調整額	△614	273
法人税等合計	622	721
四半期純利益	998	1,727
親会社株主に帰属する四半期純利益	998	1,727



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	998	1,727
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	134	△29
為替換算調整勘定	0	—
その他の包括利益合計	135	△29
四半期包括利益	1,134	1,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,134	1,698

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,621	2,448
減価償却費	121	338
のれん償却額	26	26
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	161	201
営業債権の増減額(△は増加)	580	△213
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,094	△10,913
契約負債の増減額(△は減少)	△463	△600
その他	628	△443
小計	8,771	△9,156
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△86	△167
法人税等の支払額	△5	△2,693
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,679	△12,017
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,226	△3
無形固定資産の取得による支出	△13	—
関係会社株式の取得による支出	△45	△53
関係会社出資金の払込による支出	—	△8
その他	△91	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,376	△66
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,425	10,200
長期借入れによる収入	6,528	—
長期借入金の返済による支出	—	△251
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	—	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,953	9,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,268	△2,147
現金及び現金同等物の期首残高	8,614	13,812
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△9	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,875	11,665

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。